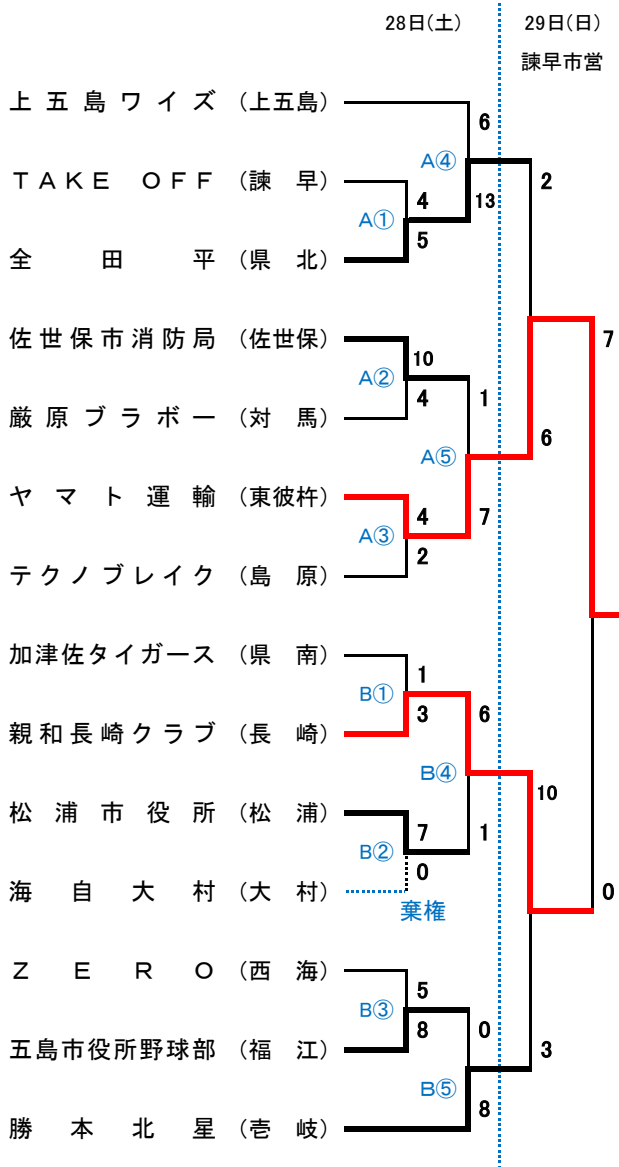


第40回 西日本軟式野球(2部)長崎県大会

会期 平成30年4月28日～29日

会場 A:諫早市営野球場 B:飯盛グラウンド



【一回戦】A ①

全田平	301 000 1	5
TAKE OFF	031 000 0	4

【一回戦】B ①

親和長崎クラブ	000 210 0	3
加津佐タイガース	000 010 0	1

【一回戦】A ② 六回時間切れ

敵原ブラボー	130 000	4
佐世保市消防局	104 05X	10

【一回戦】B ②

松浦市役所	◇不戦勝◇	7
海自大村	◆棄権敗◆	0

【一回戦】A ③

ヤマト運輸	200 010 1	4
テクノブレイク	000 000 2	2

【一回戦】B ③

五島市役所野球部	100 007	8
ZERO	023 000	5

【二回戦】A ④ 五回コールドゲーム

全田平	332 23	13
上五島ワイズ	400 20	6

【二回戦】B ④ 六回時間切れ

親和長崎クラブ	200 202	6
松浦市役所	000 100	1

【二回戦】A ⑤ 五回時間切れ

佐世保市消防局	010 00	1
ヤマト運輸	320 2X	7

【二回戦】B ⑤ 五回コールドゲーム

勝本北星	000 35	8
五島市役所野球部	000 00	0

【準決勝】

ヤマト運輸	222 000 0	6
全田平	101 000 0	2

【準決勝】 五回コールドゲーム

勝本北星	102 00	3
親和長崎クラブ	100 9X	10

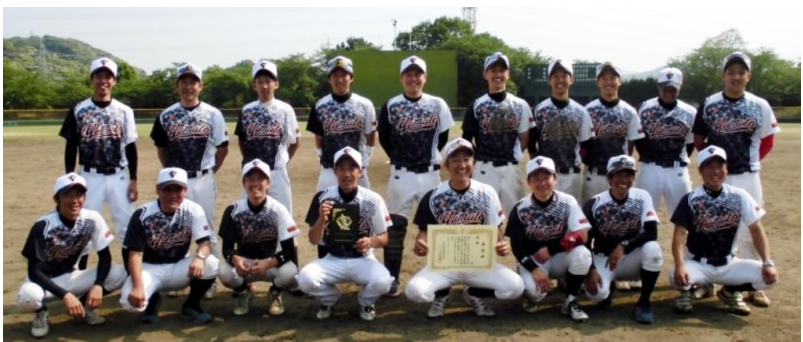
【決勝】 12:49～ 2時間11分

ヤマト運輸	002 002 102	7	36	9	6	2	3	0	3	1	0	5
親和長崎クラブ	000 000 000	0	30	7	0	3	10	2	0	1	2	15

竹山-山田 向田、川村-安達 【三】白石(ヤ) 【二】角崎(ヤ)、川村(親)

三回二死後の四球(二盗)を公文良の右適時打(後逸で打者も生還)で2点を挙げたヤマト運輸は六回にも一死一塁から白石の右越え三塁打と中沼の中安打で加点。七回は先頭角崎の右越え二塁打から三進後に公文慶の適時打。九回には死球の二死二塁に公文慶、公文良の連続適時打で7点差をつけた。

親和長崎クラブは10四死球を得、7安打を放ちながらも得点機に効果打が出ず15残塁でゼロ封された。初回は3四死球の満塁走者、三回は2四球1安打の無死満塁も三→捕→一の併殺。六回の連安打は二死後で川村の右二塁打は二死無走者からだった。ヤマト運輸の竹山は打者42人に155球を投じて九回を完封。



今季初登録の県大会初参加大会で優勝した ヤマト運輸(東彼杵支部所属)

(監督)尾崎 健一 (主将)月野 匡章

横田 道之、角崎 光、林 史敬、茅原 望、武藤 逸嗣、公文 慶太
江上 俊彦、公文 良樹、公文 佑樹、竹山 善幸、田中 快、松崎 翔吾
山田 真之介、尾崎 孝治、管藤 秀樹、中沼 健太、下釜 翔豊、白石 和也

近年の長崎県代表チーム戦績

25	長崎	国体リハーサルで4チーム参加 長崎Canon(東彼杵)= ベスト4 【二】 1-0 LoverBoys(和歌山) 【準々】 9-2 岩田屋(愛媛) 【準】 1-4 JA共済連宮崎= 優勝 島原WaterSeven 【二】 2-1 津田クラブ(香川) 【準々】 2-3 ブラックコスモス(兵庫)= 準優勝 野球屋吉井クラブ【二】 1-6 PHOENIX(山口) 海自・大村【一】 1-8 岩田屋(愛媛)
26	山口	島原WaterSeven 【一】 1-8 七宝野球クラブ(高知)
27	滋賀	Beams(島原) 【一】 3-5 TOPS。(滋賀)= 優勝
28	沖縄	大島ファイターズ(西海) 【二】 1-5 麒麟(高知)
29	徳島	ユニバース(長崎) 【一】 4-6 WEAKCLUB(高知)